

# ほたるの里だより

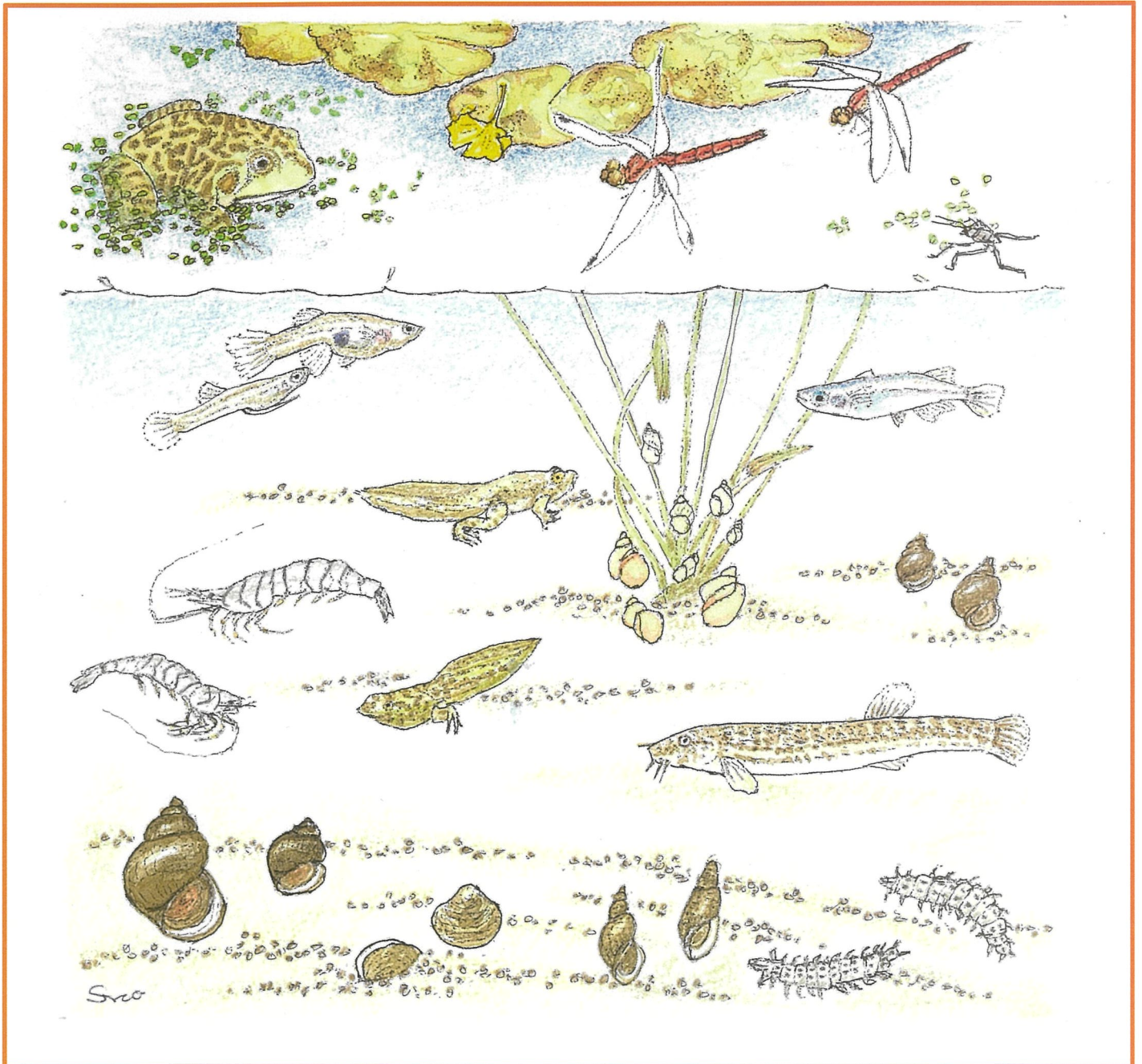
八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第60号 2019年10月



ほたるの里

## ほたるの里の水辺の生き物（秋）



(絵：もり)

ほたるの里のトンボ池、<sup>しっち</sup>湿地<sup>ようす</sup>の様子をしてみると・・・

水の上：スイレン イチョウの落ち葉 アキアカネ、シマアメンボ、ウシガエル

水の中：カダヤシ モノアラガイ サカマキガイ ヒメタニシ マルタニシ メダカ スジエビ

ウシガエルのオタマジャクシ ドジョウ シジミ カワニナ ヘイケボタル幼虫

## おやこ生き物探検隊 「夏の生き物」

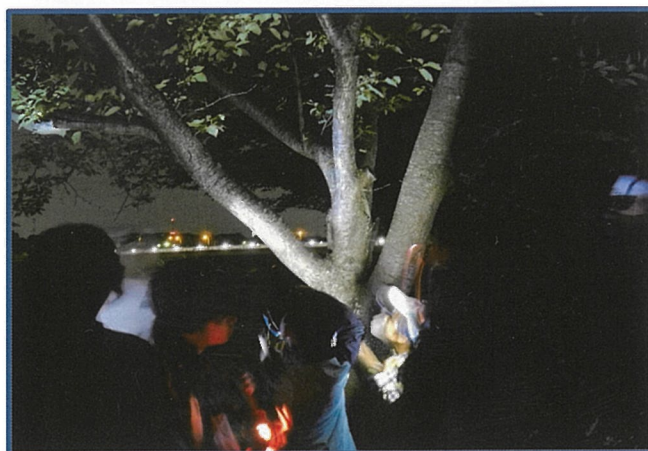
日時：2019年7月20日（土）18：30～20：00 会場：道の駅やちよ・ほたるの里

「おやこ生き物探検隊」の第2回「夏の夜の生き物を探検してみよう」と題して、観察会を行いました。

午後6時30分「道の駅やちよ」に集合（参加者総勢29名：親子21名、講師1名、サポーター2名、役員5名）、当日のスケジュールを説明、また講師の福土先生から、夏の夜の生き物やホタルの生態等についてのお話の後、新川沿いを「セミの幼虫が木に登る姿」「カエルや虫の鳴き声」等を聞きながら、子どもたちは心を弾ませ「ほたるの里」へ向かいました。

「ほたるの里」では「里に生き物を持ち込まない、持ち帰らない」ことの説明を行い、講師が前もって仕掛けたトラップを開けるとカブトムシ、クワガタ、カナブン等たくさんの生き物が掛かっており、子どもたちは目を輝かせ、大いに感動。

また、今年はホタルが9匹飛翔、「あっ、光った！」「ほんと、わー、きれいねー！」と親子の微笑ましい姿を拝見できました。



更に「ほたるの里」からの帰り道、羽化したばかりの「白く透きとおったアブラゼミ」の姿を見て、再び参加者全員で感動に浸ることができ、楽しい夏の夜の生き物観察会でした。

終了後、子どもたちは、講師が持参した「クワガタ」をプレゼントされ、喜んで帰りました。

なお、当日参加者から3組が「おやこ生き物探検隊」への参加申し込みがあり、参加者は10家族となりました。（文責：坂本金重）

## ほたるの里ヘイケボタル調査結果から（調査期間：7月1日から7月31日）

ほたるの里ではホタルの幼虫を育て放流していますが、どのくらい羽化し飛んでいるかを調べています。

今年は6月の初めに幼虫60匹を放流し7月の1ヶ月間に亘り調査をしました。最初の1匹のホタル飛翔が確認されたのが7月2日でこの状態が1週間程続き、8日になって3匹飛び20日に行



（写真提供：石井氏）

われた夜の生物観察会では9匹の飛翔が確認されました。

自然界では1%程度の羽化率といわれていますので、9匹は15%もの高い羽化率になりますが、これは終齢に近いまで幼虫を育てて放流しているためかと考えられます。その後も31日に8匹が確認され、今年は8月上旬頃までホタルが飛んだように思われます。

ほたるの里ではホタルの自生を目指して幼虫の放流を毎年続けて来ましたが、木道の設置や、天敵であるザリガニの駆除も進みましたので、次年度は幼虫の放流を一旦止めて、ホタルの飛翔があるのか否かを確認してみたいと考えています。

もし1～2匹でも確認できれば、ホタルが自生出来る環境が整いつつある、との判断が可能となるため期待をしています。（文責 深澤一郎）

## 「ザリガニ釣り大会」 2019年8月17日（土）

ほたるの里では動植物の保全活動をして21年になります。シンボルとしてのホタルの再生と多様な生き物が住める里づくりを目指し、ほたるの里づくり実行委員会は里づくりに邁進しております。

その成果でしょうか貴重な生き物も戻りつつあります。また、これまでの活動と今後も維持していくことも期待され、平成27年「生物多様性保全上重要な里地・里山」（環境省）に選ばれました。

里では、ホタルの幼虫を守るための駆除として夏休みに親子でザリガニ釣りを行っています。

ザリガニは数百もの卵を抱くため1匹でも駆除が必要です。ヤゴなど水生昆虫、魚たちの天敵でもあります。



当日は、26名の参加があり、暑さ対策に子どもたちにはチュウペットを配布しました。池のスイレンの下を狙う子、岩の間や植物の下をじっくり待つ人、水路で格闘する子。思い思いの竿と餌で慣れたもの

です。捕獲数は29匹でした。昨年からザリガニ駆除の成果が見られたのか、今年の大会での捕獲数は減っています。参加賞として、石井食品（株）さんからお土産をいただきました。

「遊びは宝」、子どものころの遊びが、生き物・自然・人の暮

らし・地球環境の保全とつながることを願い、ほたるの里が活かされる活動を続けていきたいと思ひます。

（文責：武田みどり）

## 「ザリガニ捕獲調査」

## 昨年と今年の比較から

調査年月	調査箇所	水路	湿地	滝口
2018年9月（調査開始時）		204	507	94
2019年9月（現況）		154	233	47

ほたるの里では、雑食性で、繁殖力の強いアメリカザリガニによるほたるの幼虫や水生昆虫、水草などの在来の生き物への捕食圧（※）の影響が懸念されます。このため、2018年9月から、ほたるの里の水路、滝口、湿地、池でアメリカザリガニの捕獲調査を行っています。調査は、前記の各水辺の調査地点に捕獲器を置いて、定期的（週2～3回）に捕獲数を計数しています。これまでの調査結果から次のことが確認されています。

① 2018年9月から2019年9月までのザリガニ捕獲数の総合計は、5869匹であり、捕獲調査開始後は、田植え直後の稲の苗の生育状況が捕獲前に比べ大きく改善し、ザリガニ駆除の効果が確認できました。

②調査した水辺のうち、捕獲器の設置地点や設置数があまり変わらない水路、湿地、滝口で、2018年と1年後の2019年の同じ9月における捕獲数を比較すると上の表のようになりました。

調査開始時に比べ現況の方が、水路、湿地、滝口のザリガニ捕獲数の減少が見られ、その生息数は減少しています。とりわけ、湿地、滝口での捕獲数の減少が際立っており、湿地、滝口のザリガニ生息数の減少が進んでいることがうかがわれました。

③ ザリガニの捕獲数は、水温が低くなる冬から春先（1～4月）は、減少し、水温の上昇とともに繁殖期（9～11月）に向かって増加する傾向が見られました。

アメリカザリガニが既に定着したほたるの里では、ザリガニの完全駆除は困難であり、生息数の管理（生息数が出来るだけ少ない状態に管理する）を行うのが、実効性があると思われます。このため、効果的な捕獲時期を決めて、捕獲調査を継続する必要があると思われます。今後も、アメリカザリガニの駆除を通して、ほたるの里の水辺の生物多様性を高めることができればと思います。（文責：関）

※捕食圧：捕食が個体群に与える圧・プレッシャー

## 生物モニタリング調査（ほたるの里周辺）

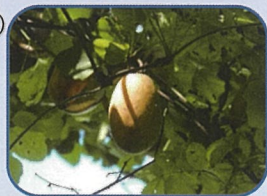
平成30年冬からスタートした八千代市主催「八千代市自然環境調査生物モニタリング調査」にほたるの里づくり実行委員会も参加しています。

調査範囲は、ほたるの里周辺です。これまで、冬・春・夏・秋と調査しました。

調査は、里の整備の後実施しました。里の周辺にジュウニヒトエ・ヤマユリの花が咲き誇る風景が見られたり、畑仕事をしている人に、野ウサギやハクビシンなどについて聞き取り調査をした際も話が弾み楽しいひと時となりました。

季節は1年を巡りました。調査を通して、ほたるの里の上の台地・寺社林・ほたるの里・田んぼ・新川と生き物や自然環境のつながりを感じることもできました。

ほたるの里の周り、素敵な場所だな！次世代につなぎたい環境と改めて感じた調査でした。（文責：桑波田 和子）



## 【里山楽校受講生を募集します】



里山整備に関する知識のほか、活動に必要なチェーンソーの使い方などを実践的に学ぶことができます（18歳以上対象）。講座終了後は、市内の里山活動団体への加入をお願いします。

▼日時 ①11/7(木)、②11/9(土)・10(日)・16(土)・17(日)のうちいずれか、③11/30(土)、④12/7(土)、⑤1/16(木)、いずれも午前10時～午後3時。3回以上参加で修了証交付 ▼場所 市役所及び市内の里山など ▼参加費 1,500円(保険代など) ▼申し込み 電話、ファクス、郵送または直接市役所環境政策室 ☎483-1151 FAX484-8824へ氏名・住所・電話番号・生年月日・性別をお知らせください。（八千代市環境政策室）



## ・ ・ ホタルメイト募集中 ・ ・

- 年会費（4月～翌年3月）※登録期間は1年間。  
個人 1世帯1,000円  
市民団体・事業所 1口 2,000円  
詳しくは、事務局までお問い合わせください。
- 受け付け  
市役所旧館 2階環境保全課窓口やイベント、里の環境整備時。また郵便局からの郵便振替でも納入可  
※郵便局でお振込の場合  
払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会  
口座番号：00150-7-670156  
振替手数料：ATM150円、窓口200円

### 八千代市ほたるの里づくり実行委員会

八千代のヘイケボタルや多くの生き物が住めるように楽しく活動しています



お問い合わせ  
事務局：八千代市役所環境政策室  
〒276-8501八千代市大和田新田312-5 Tel:047-483-1151(代表)

おほたるの里へ

### 編集後記（広報部会）

里の周りは稲刈りも終わり、イナゴやアキアカネが飛んでいます。台風15号の影響で湿地のヤナギが倒れる被害がありました。大型台風の到来など、これまでにない災害に、人や生き物の影響も気になります。

※この里だよりは2019年度TOTO水環境基金を頂き作成しました。

### 【ほたるの里 連絡先】

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市環境政策室 内

Tel: 047-483-1151 (内線2216)

E-mail: kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP: <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508>

/page000009.html

【編集】広報部会・事務局